

平成28年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故、ヒヤリ・ハット分類別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

事故の分類	3病院合計(件)	構成比(%)
薬剤	791	26.0%
輸血	18	0.6%
治療・処置	217	7.1%
医療機器	282	9.3%
ドレーン、チューブ	496	16.3%
検査	298	9.8%
療養上の世話(転倒・転落以外)	190	6.2%
指示伝達関連	351	11.5%
その他	402	13.2%
合計(件)	3,045	100.0%

医療事故、ヒヤリ・ハットレベル別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
レベル0	887	29.1%
レベル1	2,016	66.2%
レベル2	85	2.8%
レベル3	52	1.7%
レベル4	2	0.1%
レベル5	3	0.1%
合計(件)	3,045	100.0%

医療事故等(転倒・転落を除く)の分類

レベル0	ある医療行為等が患者には実施されなかったが、仮に実施されたとすれば、何らかの被害が予測された場合や、ある医療行為等の準備段階で、錯誤しそうになった場合
レベル1	ある医療行為等が患者には実施されたが被害が生ぜず、またその後の観察によっても問題が生じない場合
レベル2	医療事故によりバイタルサインに変化が生じ、心身への配慮や検査の必要性が生じた場合
レベル3	医療事故により治療の必要性が生じた場合及び当初に必要なでなかった治療や処置が新たに必要となり、診療期間を延長することとなった場合
レベル4	医療事故による障害が重篤で、障害が残る可能性が生じた場合
レベル5	医療事故により、死亡した場合

(注) レベル0及び1は、ヒヤリ・ハット事例

平成28年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故等(転倒・転落)レベル別3病院合計発生件数

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
レベルA	490	78.5%
レベルB	102	16.3%
レベルC	11	1.8%
レベルD	21	3.4%
レベルE	0	0.0%
レベルF	0	0.0%
合計(件)	624	100.0%

医療事故等(転倒・転落)の分類

レベルA	患者に損傷はなかった場合
レベルB	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた場合
レベルC	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた場合
レベルD	ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった場合
レベルE	転倒による損傷の結果、患者が死亡した場合
レベルF	記録からは判定不可能な場合